

環境

富士山の恵みに育まれた 環境を未来へつなぐまちづくり

富士山がもたらす豊かな水資源や自然環境、景観を保全するとともに、安全で快適な生活環境を保つことで、市民が誇りとする郷土を次の世代に継承していきます。

- 政策1 地球環境
- 政策2 生活環境
- 政策3 自然環境
- 政策4 景観
- 政策5 花と緑・水辺
- 政策6 水利用



政策 1



地球環境

目指すまちの姿

地球環境の保全に向けて、
エネルギーを有効に利用しています



● 基本方針

地球環境を守るため、市民の環境保全意識を高め、環境保全活動につなげるように努めます。また、エネルギーの有効利用や地産地消を推進するとともに、地球環境への負荷が少ない再生可能エネルギーを導入し、ゼロカーボンシティ*の実現を目指します。

● 施策の内容

① 地球環境保全活動の強化

- 地球温暖化防止対策を図るため、市域の温室効果ガス排出量を把握し、排出の抑制に関する取組を推進します。
- 気候変動適応計画に基づき、気候変動適応に関する取組を推進します。
- 地球温暖化対策実行計画や環境マネジメントシステム*に基づき、環境管理活動の充実を図ります。
- 環境保全意識の向上を図るため、環境イベントの開催や環境学習などの啓発活動を実施します。

② ゼロカーボンシティの推進

- 地域の景観や環境との調和を図るため、地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入や次世代型太陽電池*の導入を推進し、脱炭素化を図ります。
- エネルギー使用量の削減に努めるとともに、省エネ設備の導入や建築物のZEH・ZEB*化等を推進します。

③ エネルギーの有効利用と地産地消の推進

- 地域資源を活用した持続可能な取組の創出を支援し、市民・団体・事業者と共に地域循環共生圏*づくりを行います。
- 環境に配慮したライフスタイルへの転換を推奨し、意識啓発や環境教育を推進します。

貢献するSDGs 目標



主要な事業

事業名	事業の主な内容
地球温暖化対策事業	クーリングシェルター*の開設、地球温暖化防止の普及啓発など
ゼロカーボンシティ推進事業	再エネ・省エネ設備等の導入支援、公共施設の省エネ化、J-クレジット制度*の活用支援など
再生可能エネルギー推進事業	太陽光発電、小水力発電、バイオマス発電などの再生可能エネルギーの導入推進

● 関連計画

- 富士宮市環境基本計画
- 地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）
- 富士宮市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
- 富士宮市ゼロカーボン推進戦略
- 富士宮市一般廃棄物処理基本計画

用語説明

環境マネジメントシステム

事業活動を行う組織が、法令等の規制基準を順守するだけでなく、自主的、積極的に環境保全のために取る行動を計画・実行・評価する仕組みのこと。

クーリングシェルター

熱中症特別警戒情報（県内の暑さ指数計測地点17カ所全てで暑さ指数35に達した場合。10年に一度の暑さ、災害級の暑さ）に、暑さをしのぐために開放する場所のこと。暑い時期は一定期間、暑さをしのぐために普段も利用できる。

次世代型太陽電池

従来のシリコン系太陽電池に代わる新しい材料や構造を用いた、より高性能・多機能な太陽電池の総称。中でも、ペロブスカイト太陽電池は近年の研究開発により変換効率の上昇が見られ、実用化が期待されている。

ゼロカーボンシティ

2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指す旨を公表した地方自治体のこと。

地域循環共生圏

各地域が、美しい自然景観等の地域資源を最大限に活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支えあうことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方のこと。

J-クレジット制度

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素等の排出削減量や適切な森林管理による二酸化炭素の吸収量を国が「クレジット」として認証する制度のこと。

ZEH・ZEB

ZEHは「Net Zero Energy House」の略で、ZEBは、「Net Zero Energy Building」の略。快適な室内環境を実現しつつ、省エネと創エネにより、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のこと。

政策 2



生活環境

目指すまちの姿

環境にやさしい持続可能なまちになっています



● 基本方針

循環型社会を形成するため、市民、事業者及び行政が協働し、ごみの発生・排出の抑制、再使用の推進及び資源化の徹底に取り組みます。また、生活環境を安全で快適に保つため、処理施設の適正な維持・管理や公害防止対策の充実、環境美化の推進及び環境衛生の充実に努めます。

● 施策の内容

① 循環型社会の推進

- 市民及び事業者に対して、ごみの発生・排出抑制（リデュース）及び再使用（リユース）のための取組を啓発し、ごみを出さない社会づくりを推進します。
- 資源の有効活用や適正な分別の徹底により、資源循環の推進を図ります。
- 啓発活動や環境教育などを通じて、意識の向上を図ります。
- 食品ロス削減、使用済み紙おむつ、海洋プラスチックなどの新たな課題の解決に取り組みます。

② 良好な生活環境の確保

- 大気汚染・水質汚濁・化学物質等の環境監視測定を継続的に実施し、必要な対策につなげることで生活環境の保全を図ります。
- 環境関連法令等に基づき、工場などの監視・指導を適切に行い、環境汚染の防止に努めます。
- 不法投棄、野焼き対策に取り組むなど、環境美化意識やマナーの向上を図ります。
- 火葬場、市営墓地の適切な維持・管理に努めます。
- 蚊などの衛生害虫予防のため、空き地等の管理指導に努めます。
- 狂犬病予防法に基づく登録や犬・猫の飼い主に対するマナーの向上を図るための啓発活動等犬・猫の適正な飼養を促進します。

貢献するSDGs目標



3 持続可能な廃棄物処理体制の整備

- 使用済再生可能エネルギー発電設備やリチウムイオン電池など、時代の変化により新たに生じる廃棄物の適正な処理を推進します。
- 清掃センターの長寿命化・延命化を図るため、中間処理施設に関する先端技術及びごみ処理の広域化について調査研究します。
- 焼却灰等の資源化に向けた取組を継続します。
- 生活排水処理基本計画に則り、総合的かつ計画的な排水処理を推進します。
- 衛生プラントと星山浄化センターの効率的な共同処理を推進します。

主要な事業

事業名	事業の主な内容
資源ごみリサイクル事業	ごみの分別収集と再商品化
ごみ減量化等推進事業	古紙等回収拠点など
環境監視測定事業	水質や大気環境等の調査及び測定
合併処理浄化槽設置整備事業	合併処理浄化槽への転換等の促進

● 関連計画

- 富士宮市一般廃棄物処理基本計画
- 富士宮市環境基本計画
- 富士宮市分別収集計画
- 富士宮市災害廃棄物処理計画
- 富士宮市食品ロス削減推進計画

政策 3



自然環境

目指すまちの姿

大切な自然環境を守り育てています



● 基本方針

富士山麓でこれまで受け継いできた優れた自然について、様々な人と自然環境保護・生物多様性保全策を積極的に推進します。

● 施策の内容

① 生物多様性保全の推進

- 私たちの暮らしと密接に関係する生物多様性保全についての啓発します。
- 自然保護団体等と連携し、多様な生態系の保全に努めます。

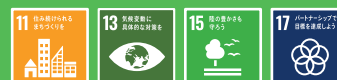
② 自然環境の保全と活用

- 富士宮市域自然調査研究会の調査を行うことにより市域の自然環境を把握します。
- 草原環境や湿原環境の保全活動を継続します。
- 自然監視員を地域から選出し、市民と共に保全活動を進めます。
- 自然観察会の開催などを通じて、自然とふれあうことにより、自然環境への理解を深めます。

③ 自然環境保護活動への支援

- 自然共生サイト*の認定や保全活動を支援します。
- 希少な動植物や貴重な樹木・樹林、湧水池を指定し、保全活動に携わる人や団体を支援します。

貢献するSDGs目標



主要な事業

事業名	事業の主な内容
自然環境保全事業	根原区火入れ、市域自然調査研究
自然公園管理事業	小田貫湿原、天神山自然観察の森、富士山ふれあいの森林などの維持管理と環境保全
生物多様性地域戦略推進事業	生物多様性保全に係る各種取組みの推進、自然共生サイト認定支援

● 関連計画

- 富士宮市環境基本計画
- 富士宮市生物多様性地域戦略

用語説明

自然共生サイト

環境省が認定する、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域及び地域生物多様性増進法に基づき認定された実施計画の実施区域のこと。

政策 4



景観

目指すまちの姿

富士山が美しく映える景観が創られています



● 基本方針

富士山の「庭園都市」にふさわしい自然景観や歴史的な景観を適切に保全するとともに、周辺の景観との調和に配慮した景観形成を誘導し、富士山が美しく映えるまちとして、市民と共に魅力的な景観を創ります。

● 施策の内容

① 景観資源の保全と活用

- 富士山を中心とした自然景観の保全に努めます。
- 貴重な史跡や歴史的建造物など、地域の景観資源の保全と活用に努めます。
- 優れた景観形成に寄与する活動等の表彰や景観学習を実施し、市民の景観に対する意識を高めます。

② 景観形成の推進

- 景観計画に基づく景観形成基準を設定し、官民が連携して良好な景観を推進します。
- 屋外広告物条例に基づく規制・誘導を行い、良好な景観形成に努めます。
- 良好な景観を形成するとともに、安全かつ円滑な交通を確保するため、無電柱化を計画的に進めます。

貢献するSDGs目標



主要な事業

事業名	事業の主な内容
景観形成推進事業	景観形成ワークショップの開催など
景観啓発事業	市民の景観に対する意識醸成を目的とした富士宮市景観賞や景観学習等の実施
屋外広告物許可事業	屋外広告物条例に基づく規制・誘導
無電柱化推進事業	無電柱化推進計画に基づく計画的な整備

● 関連計画

- 富士宮市景観計画
- 富士宮市無電柱化推進計画
- 富士宮市文化財保存活用地域計画
- 富士宮市緑の基本計画
- 富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想
- 富士宮市都市計画マスタープラン

政策 5



花と緑・水辺

目指すまちの姿

花と緑と水辺から、潤いと安らぎを感じています



● 基本方針

豊かな自然の更なる魅力の創出を図るため、市民との協働により、花壇づくりや河川愛護を推進し、心癒される花と緑と水辺の環境づくりに努めます。

● 施策の内容

① 花と緑のまちづくりの推進

- 美しい花いっぱいのもちづくり運動を通じて、市民協働による花壇づくりやフラワーポット設置などの緑化を継続し、彩りのある空間づくりを進めます。

② 水辺空間の形成

- 富士山からの豊かな湧水を保全・活用するため、湧水池の保全やくつろぎと潤いを感じられる親水空間の整備を進め、湧水の魅力を発信します。
- 河川愛護団体が行う清掃活動・啓発活動などを通じて意識の向上を図るとともに、国や県と連携しながら水辺空間の形成に向けた取組を支援します。

貢献するSDGs 目標



主要な事業

事業名	事業の主な内容
神田川左岸整備事業	神田川左岸の整備による癒しの空間の創出
美しい花いっぱいのもちづくり事業	緑化推進に対する助成、市街地の緑化推進など
河川愛護事業	河川愛護活動の推進

● 関連計画

- 富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想
- 富士宮市都市計画マスタープラン
- 富士宮市緑の基本計画

政策 6



水利用

目指すまちの姿

限りある水資源を守り、有効に活用されています



● 基本方針

水資源をかん養*するとともに、地下水の調査や湧水池の巡回監視等を行うことにより、限りある水資源の適正な利用を図ります。

● 施策の内容

① 地下水・湧水の保全と活用

- 観測井で地下水位の定点観測を実施するとともに、水源保全監視員等による湧水池の巡視活動を実施します。
- 富士宮市自然環境の保全及び育成に関する条例、地下水の保全及び利用に関する指導要綱等に基づき、井戸の設置に当たり地下水の適正な利用について指導します。

② 水資源かん養の推進

- 広葉樹の育苗と植樹を推進します。
- 植樹地「うるおいの森」の補植や下草刈りを行い、森を育てます。

貢献するSDGs目標



主要な事業

事業名	事業の主な内容
地下水保全対策事業	地下水位観測用井戸での定点観測、異常湧水ポイントでの監視や湧水地の保全など
広葉樹育苗・植樹事業	富士山に自生する広葉樹の育苗と植樹

用語説明

かん養

自然に水がしみこむように徐々に養い育てること。

基本目標 2

「環境」の達成状況を測るための指標

客観指標

指 標	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
温室効果ガス排出量削減率	-18.9% (平成25年度)	-46.0%
再生可能エネルギーによる発電電力量	247,750 千KWh	608,622 千KWh
ごみ総排出量	36,361 t	33,610 t
1人あたりの緑地面積	9.82㎡/人	10.5㎡/人
自然共生サイト*の数	1 か所	3 か所

主観指標

指 標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市は、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組が盛んである	3.5	3.8
富士宮市の空気や水は澄んでいてきれい	4.4	4.5
富士宮市は、身近に自然を感じる事ができる	4.4	4.5
富士宮市には、自慢できる景観がある	4.4	4.5

※主観指標は、1～5段階評価で実施した市民アンケート調査の平均値を示しています。具体的には「非常にあてはまる」を5点、「全くあてはまらない」を1点として、それぞれの点数に百分率を乗じて指数化し、その合計を平均値としています。

用語説明

自然共生サイト

環境省が認定する、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域及び地域生物多様性増進法に基づき認定された実施計画の実施区域のこと。